

6. 総合模擬試験問題

1 公害総論（1種～4種共通）

問1 環境基本法に定める環境保全の基本理念に関する記述中、(ア)と(イ)に挿入すべき語句の組合せとして、正しいものはどれか。

環境基本法第3条から第5条において、環境保全の基本理念として の享受と継承等、環境への負荷の少ない持続可能な社会の構築、 による地球環境保全の積極的推進の三つを掲げている。

(ア) (イ)

- | | |
|-------------|-----------|
| (1) 環境の恵沢 | 国際的協調 |
| (2) 環境の恵沢 | アジア諸国との協調 |
| (3) 自然環境の恵み | 先進諸国との協調 |
| (4) 環境の保全 | 国際的協調 |
| (5) 環境の保全 | 先進諸国との協調 |

問2 環境基本法に関する記述として、誤っているものはどれか。

- (1) 政府は、毎年、環境の状況を考慮して講じようとする施策を明らかにした文書を作成し、これを国会に提出しなければならない。
- (2) 政府は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染及び騒音に係る環境上の条件について、それぞれ、人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準を定めるものとする。
- (3) 環境基準については、常に適切な科学的判断が加えられ、必要な改定がなされなければならない。
- (4) 国は、事業者、国民又はこれらの者の組織する民間の団体が自発的に行う緑化活動、再生資源に係る回収活動その他の環境の保全に関する活動が促進されるように、必要な措置を講ずるものとする。
- (5) 国及び地方公共団体は、自然環境の保全のための事業により著しく利益を受ける者があ
る場合、その者にその事業の実施に要する費用の全額を負担させるために必要な措置を講
ずるものとする。